

事務局より

特別号の発行にあたり

第10号の『支える会つうしん』において、特別号の発行予定を9月頃として案内させて頂きましたが、いろいろなこと（都合や手違いなど）があって、11月の発行になってしまいました。

つうしんの発行を心待ちにしていた会員の皆さんには、春に4人の新任の医師と6人の新任の看護師を迎えた喜びや安堵感が少し薄れてしまっていたら、発行が遅れたことをお詫びしなければなりません

今回の特別号では、3名の医師の先生方へのインタビューを記事にしています。公立芽室病院に着任して半年が過ぎ、先生方にも落ち着いた中でインタビューができ、先生方其々の人柄や志が伝わる記事になったのではないかと思います。

と、同時に、三人の先生方が患者さんとのコミュニケーションを大切にしていきたいと話されています。先生に話をよく聞いて貰って、先生の話をよく聞いて、自分にとって良い治療が受けられるという満足感が得られることが、患者だけでなく先生方にとっても望まれている事だと感じました。

尚、3人の医師の先生方と一緒に着任された佐藤則和医師は、自己都合により退職されています。（ザンネン）

みなさんの声を聞かせて下さい

日頃から公立病院やそこに働く人達に一度聞いてみたかった疑問や言いたいと思っている意見などを、持っているが、なかなか口に出せないでいる声を聞かせて下さい。

支える会の幹事役員がお話をお聞きして、公立病院との意見交換のなかで公立病院にお伝えします。

幹事役員名	鳥本ヒデ子	村上 哲也	沢尻 啓子	中村りつ子	中村 章
	安藤 功	江口美生男	尾田 憲子	野澤 隆男	坂田 恵子
	片桐 和江	堀井ゆり子	武川 清作	本田 景茂	嶋野奈津美

会員募集中！ 随時募集しています

★会員数（7月1日現在） ・一般会員 197名 ・団体会員 1団体 ・法人会員 9法人

★入会できる人
・公立芽室病院を利用している人
・公立芽室病院を大切に思う人
・お医者さんや看護師さんを応援したい人

★年会費 1,000円

★問い合わせ 62-1439（会長宅） 62-2516（事務局）

※公立病院事務室でも入会できます

支える会 つうしん



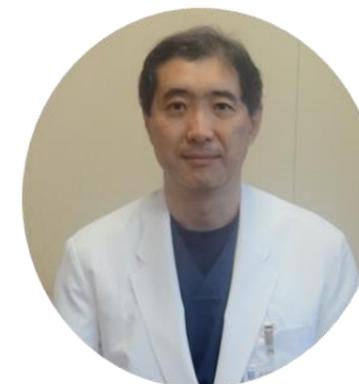
公立芽室病院をみんなで支える会広報

特別号 2016年10月 発行

ホームページアドレス

<http://www.support-memurohp.com>

インタビューコーナー



整形外科診療部長
とぎや さとし
研谷 智 医師

●芽室町や芽室病院の印象などはいかがですか？

山並みなどの景色はもちろん、町並みも綺麗で気に入っています。

道も広く、とてもすっきりしていますよね。

病院の雰囲気もとてもよく、今回希望した理由の一つです。

病院内の医師、看護師だけでなく、様々な職種な方々とも一緒になって

飲みに行く機会がありますが、他の病院と比べるとこれは珍しい事なんですよ。

●病院の食事はいかがですか？

病院のお食事とても美味しいです。好き嫌いもなく、何でもおいしく頂いています。

●患者さんと接する中で心掛けていることは何ですか？

患者さんのお話をよく聞こうと思っています。ご自身の身体の状況を理解して頂けるように、説明をしっかりとるように心がけています。『何か分からないけど薬だけ出された』という事が無いようにしたいと努力しているつもりです。

●ご趣味など教えてください。

そうですね…、カメラをいじっていることが多いですかね。以前は景色を撮りに出かけたりしましたが、最近なかなか出かけることが出来ず、家族で出かけた際にスナップ写真を撮る位ですね。カメラは娘も趣味にしている、親子で共通の趣味があるのは嬉しいことです。

●好きな食べ物を教えてください。

そうですね…、選べと言われたらカレーですね。インディアンも好きですよ。

●地域の皆さんにメッセージをお願いします。

整形外科は、本人の困り具合や何をしたいかによって治療が決まってくる分野です。

こちらから「こうしましょう」ということではなく、患者さんの希望を聴き、相談しながら治療を決めていく形をとっていきたくていつも思っています。

何か困っていることがあれば、ぜひ来て頂ければと思います。

インタビューコーナー



はせ わたる
内科医長 長谷 亘 医師

●とてもユニークで魅力的な経歴をお持ちですね。

メキシコで生まれ、中学3年まで海外生活でした。
途上国での医療不足の様子を肌で感じながら育ちました。

●医師を目指したきっかけを教えてください。

日本でサラリーマンをやっている中で「自分はこの道じゃないよな」という気持ちがありました。
思い立って、最果ての地である知床のホテルで働いていた際に、夜中にも拘らず患者に対応する医師に出会い「自分も医療の道へ進みたい」と…。
その後「思いつきで医師になってはいけない」と、しっかりとしたモチベーションを養うためインドに行ったりもしました。
そして、同期と13年の差があるのですが、長崎大医学部に入学しました。海外にも医師を出している大学だったので、在学中には海外での医療を学ぶ機会にも恵まれました。

●医師の少ない地域での勤務を希望していらっしゃるそうですね？

東京での激務も経験しましたが、都会には医師は大勢いますので、海外や地方の医師のいない地域での勤務を希望してきました。プライマリーケアと言われるような、幅広い分野で気軽に相談してもらい、必要があれば専門医に繋げていける医師を目指しています。

●十勝での好きな食べ物はありますか？

KAGURA さんの焼き肉です。また、トウモロコシはビックリするほど美味しいですね！
十勝はとても良い所です。

●地域の皆さんにメッセージをお願いします。

東京から来て、初めての地域病院勤務に日々奮闘しています。質の良い医療を提供できるよう力を合わせて頑張っていますので、何でもお気軽にご相談ください。また、病院について気付いたことなどありましたら遠慮なくご指摘頂けると嬉しいです。



インタビューコーナー



つちや よしひろ
内科医長 土屋 慶容 医師

●芽室町でプライベートで行かれている場所などありますか？

総合体育館の使用料がとても安く、時々体力作りにトレーニングジムを利用させてもらっています。
ケーキ屋さんや、小久保さんの馬刺が美味しいです。
町内のパン屋さん色々行っていますし、そば屋さん美味しいですね。
子どもがまだ小さいので、休日のレジャーなどにはまだあまり出かけていません。

●北海道出身でいらっしゃるんですね。

釧路出身の、だいたい(笑)釧路育ちです。大学は札幌医科大学を卒業し、初期研修を経て旭川医科大学で経験を積んだり、研究に従事したりしていました。

●好きな食べ物を教えてください。

お寿司です。回るお寿司屋さんしか行きませんが(笑)十勝は豚などのお肉も美味しいですね。

●患者さんと接する中でのモットーなどありますか？

明瞭簡潔に分かりやすく伝えることですね。患者さんが分からないような専門用語は使わないように心がけています。何か分からないことや心配なことがあれば、遠慮なく質問してもらえたら、きちんとご説明いたします。なんでもお気軽にご相談ください。

●地域の皆さんにメッセージをお願いします。

芽室町の地域医療に少しでも貢献できるように頑張りたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

取材を終えて…

この度はご多忙のところ、3人の先生をはじめ事務局の方々にも大変お世話になりました。本当にありがとうございました。普段の診察だけでは知ることのできない、先生方の高い志やご奮闘ぶりをお聞きすることができとても貴重な機会となりました。紙面の都合上、伺ったお話の全てをご紹介することができず大変残念ですが、支える会として先生方の想いを活かしていけるよう今後検討していきたいと思ひました。

まずはやはり、芽室病院に関心の目を寄せること。そして「通いたくなる病院」になるように、利用者として何ができるのかを考えていくことだと思ひます。

取り急ぎ、長年患っている「ばね指」の治療に、足を運ぼうと思ひている所であります…(笑)

広報部 嶋野奈津美

